

ヤマトグループの物流ターミナル「関西ゲートウェイ」を見学しました!!

日本複合・防音床材工業会では、資材流通委員会主催で工業会の正・賛助会員を対象に各会員様の事業経営の参考となるべく、各種見学会を企画・開催しております。

今回は、物流業界最大手のヤマトグループ「関西ゲートウェイ」という巨大な物流ターミナルを見学し、参加者は効率的な物流システムの構築について学びました。

- 日 時：11月21日(木) 14時00分～15時20分
- 場 所：ヤマトグループ「関西ゲートウェイ」 大阪府茨木市松下町3-1
- 参加者：21名 (工業会の正会員及び賛助会員見学者)
- 条 件：工業会会員に所属、見学は無料、現地集合・現地解散



1) 陸・海・空の輸送モードに対応した立地で、多頻度幹線輸送によるスピード配送を提供

関西ゲートウェイでは、これまでの厚木ゲートウェイ・中部ゲートウェイと同様に、最新の仕分け機器による24時間発着同時仕分けを行い、2つのゲートウェイとの多頻度幹線輸送により、スピード配送を実現します。

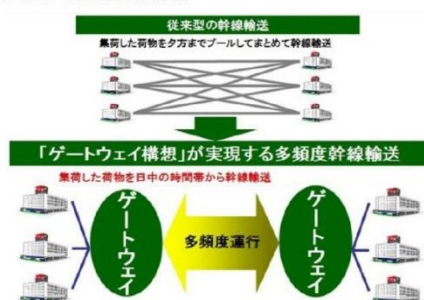
2) スピード輸送ネットワークとグループ各社の付加価値機能を一体化した「止めない物流」を実現

ものが流れる中で、キittingやマージ、メンテナンスなど新たな価値を付加する「止めない物流」を実現します。

3) 省力化・省人化、走行距離の短縮など輸送効率の向上で、コスト構造を改革

関西ゲートウェイは仕分け作業の機械化で、省力化・省人化を進め、労働力不足に対応します。また、関西圏のハブとして荷物を集約し、車両台数の削減や積載率向上、走行距離短縮などで輸送効率を高め、コスト構造を改革します。

【ご参考】ゲートウェイ構想の概念図



スーパーフルトレーラーSF25の導入によって、積載量が従来の大型トラックの2倍となり、1度に大量の荷物を輸送できるようになるとともに、異なる事業者のトレーラーを連結し1台の車両として運行できることから、事業者の壁を越えた輸送の効率化につながり、物流業界全体の課題である人手不足への有効な解決手段となります。また、車両台数が削減できることで、CO2の排出量低減にも貢献します。



※日本複合・防音床材工業会では会員を対象に適宜、展示場や工場見学を実施しています。